

令和 5 年度事業計画

日本サニテーションコンソーシアム（JSC）は、アジア太平洋水フォーラム（APWF）のサニテーションに関するナレッジハブ活動を通じて、アジア・太平洋地域の衛生状況の改善に貢献するため、令和 5 年度（2023 年度）において、以下のような事業を実施する計画である。

この数年懸念された新型コロナウイルス感染症拡大（COVID-19）の影響は、一部にあるものの今年度の活動は、影響前の水準まで回復するものと想定される。

1. ネットワーキング

（国際機関と連携し、各国の衛生関係機関とのネットワークを構築する）

ナレッジハブの活用を促進するために、アジア・太平洋地域のサニテーションに関係する機関、団体等を見出し、ネットワークの拡大を図るため、各種会議、ワークショップ等に参加する。この一環として国土交通省の受託案件「下水道分野における海外展開推進方策検討業務」（エム・アール・アイリサーチアソシエイツ㈱との JV 受注）の中で以下のような調査及び行事等の企画・支援を予定している。

- ① 海外における下水道整備の動向調査（アジア 5 か国）
- ② 政府間会議・技術セミナー等の開催・運営支援等（4-5 か国・都市、4-5 テーマ）
- ③ 本邦下水道技術の海外展開方策の検討

2. 情報収集

（アジア・太平洋地域の衛生に関する情報データベースを構築し、各国の衛生改善に関する調査を実施する）

2-1 APWF（Asia-Pacific Water Forum Governing Council Meeting）

執行審議会への参加

第 30 回アジア太平洋水フォーラムの執行審議会（6-7 月頃開催を想定）に参加し、来年度インドネシア・バリ（2024 年 5 月 18 日～24 日）で開催される第 10 回世界水フォーラムの第 2 回準備会合（9-10 月頃開催を想定）に関する諸調整に参加する。

3. 知識の普及と情報共有

(衛生に関する日本等の先進国の知識と経験の普及、途上国の情報と知識の共有のための国際セミナーを開催する)

3-1 アジア汚水管理パートナーシップ (Asia Wastewater Management Partnership (AWaP)の支援

下水道展(札幌市にて開催)に合わせて8月1日に開催されるAWaP総会において事務局を担当する日本下水道事業団(JS)より、AWaPのパートナー機関であるJSCに総会及び技術セミナーの進行等に関する支援を依頼されている。

3-2 スtockホルム世界水週間への参加

ストックホルム世界水週間(8月20日~24日)において、APWFにおける議論を踏まえ、第10回世界水フォーラム第2回準備会合に向けた各セッションの主催等に関する調整に参加する。

また、セッションの提案として「いつものビジネスからの脱却:アジア太平洋地域における衛生のイノベーション」と題した提案を行い採択されている。アジア地域の関係機関と協力し発表を行うほか情報を収集する。

3-3 第10回世界水フォーラムの第2回準備会合への参加

来年度インドネシア・バリ(2025年5月18日~24日)で開催される第10回世界水フォーラムの第2回準備会合(9-10月頃開催を想定)参加し、国土交通省、環境省の方針を踏まえ、セッションの主催等に関する諸調整に参加する。

3-4 第11回アジアにおける分散型汚水処理に関するワークショップ

前年度に引き続き、アジアにおける分散型汚水処理システムの普及推進に向けて各国間の情報共有並びにネットワーク構築を図るため、2023年に環境省が主催する「第11回アジアにおける分散型汚水処理に関するワークショップ」の開催を支援する。

3-5 インド水省におけるセミナーへの参加

インド水省(Ministry of Jal Shakti)の「清潔なガンジス河のための国家事業」(National Mission for Clean Ganga (NMCG)が開催するセミナー(2023年5月8日)に講師として参加し、「河川浄化と分散型汚水管理の改善(仮題)」について発表する。

4. 国際援助機関への支援

(ADB・JICA 等国際援助機関に対し、衛生関係技術者の養成を実施するとともに、プロジェクトの調査や適正技術の選定に対する助言や専門家の紹介などを行う。)

4-1 ビル&メリンダ・ゲイツ財団 (BMGF) / アジア開発銀行研究所 (ADB) との連携強化

途上国の衛生状態の向上を目的とする BMGF と ADBI が提携し、さらに ADBI と JICA の連携により浄化槽など分散型を含む包括的な都市衛生改善 (CWIS) の研修実施を支援する。ADBI と東洋大学が協力し 2021 年から実施してきた途上国の衛生関係と東洋大学の学生向けに分散型污水管理コース研修の継続に向けて調整及び支援を行う。

5. その他の活動

5-1 ISO/TC224/WG8、WG10 及び CG 活動への参加

ISO TC224/WG8 の新しい規格「飲料水及び下水サービスに関する活動— 基礎的分散型生活排水マネジメントに関するガイドライン」の改定にあたり、環境省委託業務の一環として日本の分散型污水处理のマネジメントに関する知見を反映させることを目的とし、日本環境整備教育センターと JSC が参加する。

また、新たに TC224WG10「トイレ流せるモノ」に関する会合には日本下水道協会・下水道グローバルセンター (GCUS) と JSC が参加する。TC224 の総会及び CG には JSC が参加し、意見及び情報収集を行う。

今年度の会議は、6 月にフランス・パリで開催される予定である。